エヌ・デーソフトウェア株式会社

佐藤　華瑠香

＜フィールドホッケー＞



　昨年度は、私のホッケー活動に多大なるご支援を賜り誠にありがとうございました。

　一昨年に出場した全国社会人大会を通して、チームに改めて活気が生まれ「今年も全国大会へ出場し、一勝をあげる」ことを目標に日々練習に励んでまいりました。しかしながら、結果としてはあと一歩のところで全国大会出場を逃し、非常に悔しい思いをすることとなりました。

　また、夏に開催された国民スポーツ大会においても、昨年は準決勝で敗退し、最終結果は3位と、こちらも悔しさの残る結果となりました。

　今後、山形県のホッケー競技をさらに盛り上げていくためには、社会人チームに所属する私たちがその中心となって牽引していく必要があると考えております。昨年の悔しい結果をバネに、今年は下剋上を目標に掲げ、活動できることへの感謝を忘れず、日々精進して参ります。

　引き続き、ご支援・ご声援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

エヌ・デーソフトウェア株式会社

NDソフト アスリートクラブ

＜陸上競技・駅伝＞



令和7年度、2年ぶりのニューイヤー駅伝出場権獲得を目指して出場した東日本実業団駅伝では13位となり、ニューイヤー駅伝の出場権を獲得。元日の本選では、総合30位で過去最高順位の更新を達成しました。

個人競技では、青野朱李が7月の日本選手権に出場。

9月の全日本実業団対抗陸上競技選手権大会では100m・200mの両種目で2位表彰台、10月の国民スポーツ大会では成年女子300m2位で山形県チームに貢献しました。また、パラアスリートの戸田夏輝が10月のニューデリー世界パラ陸上競技大会に日本代表として出場。T20 1500mで2位に輝きました。さらに荒生実慧が8月のシドニーマラソンで2時間07分42秒の6位入賞の快挙を達成。昨年に引き続き山形県記録を樹立して、山形県長距離界を活気づける走りを魅せました。

CSR活動では、活動拠点を置いている南陽市で陸上競技の講師として陸上教室に参加し、小中学生向けに指導を行いました。また、白川ダム湖畔マラソンや、河北町チャリティ駅伝などにゲストランナーとして参加しました。

今年度も東日本実業団駅伝のニューイヤー駅伝出場権獲得、ニューイヤー駅伝チーム最高順位の更新、個々の目標に向けて、より一層練習に励んでいきます。

近年、健康志向の高まりとともに、日常のライフスタイルにランニングを取り入れる人が増え、走ることがひとつの文化として定着しつつあります。山形県の陸上競技レベルの向上に限らず、県民の皆様が走ることをより楽しく取り入れられるように、引き続き普及活動に力を入れていく所存です。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

株式会社置環

スキー部



令和７年度の目標も引き続き「国スポ優勝・入賞」を掲げ活動をしてきました。
選手構成は男子のみで、アルペン２名（佐藤慎太郎、三上大我）で取り組みました。
青の煌めきあおもり国スポ2026では、ジャイアントスラローム成年男子Ｂで三上大我が４位という結果で、惜しくも表彰台を逃しましたが、入賞という目標を達成することができました。
また、全日本スキー選手権大会アルペン競技のスラロームにおいて、３位という結果を残し、大きな大会で見事表彰台に立つことができました。
佐藤慎太郎ですが、怪我により競技に挑むことができず、余儀なく引退となりました。
２年前のやまがた雪未来国スポの成年Ｂジャイアントスラロームで佐藤慎太郎が優勝し、公言してました優勝したらその場で彼女にプロポーズするという約束を果たし、見事快諾してもらったことが印象深い出来事でした。
当協議会の皆様には現役中、大変お世話になりました。この場をお借りして感謝申し上げます
以前、選手として活躍した清野嵩悠は令和７年度も全日本のアルペンコーチとしてヨーロッパを主体としたワールドカップ、世界ジュニア選手権に派遣され、コーチとして活動しております。
令和８年度も目標を達することができるように努力し、怪我をせず１年間活動できる強い選手を目指し、弊社で経営しておりますココロとカラダをリカバリーする蔵王坊平「高源ゆ」を拠点にトレーニングに励みます。
また、地域貢献の一環として地元高校スキー部のアルペン競技の指導を継続して行っております。
卒業したＯＧは大学に行っても国内主要大会で上位入賞し、国内トップレベルで活躍しています。
最後になりますが、当協議会の皆さまからの温かいご声援とご支援を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

株式会社きらやか銀行

B-net/yamagata

＜硬式野球部＞



　B-net/yamagataは山形市の社会人野球クラブチームとして2023年1月に設立しました。
　三年目を迎えた2025年シーズンも「B-net/yamagataで野球をしたい」というメンバーが数名加入し、総勢30名のチーム体制となりました。
　2025年は3年連続都市対抗野球山形県予選で優勝し、続く東北二次予選では企業チームであるJR秋田から勝利を掴み取りました。
　チーム最大の目標の一つである全日本クラブ選手権の全国大会出場を目指し、山形県大会に臨みましたが残念ながら決勝で敗退してしまいました。なかなか全国への壁を越えられませんでした。
　来年こそは必ず全国大会に出場するために、オフシーズンから練習を重ね、レベルアップを図り大会に挑みます。
　今年は初めて岩手県野球連盟主催の「一関市長旗クラブ野球大会」に参加し、普段試合をすることがない関東の強豪チームと試合を行い、良い経験を積むことが出来ました。全国大会では、様々なチームが出場するため、このような経験を大切にし、活かしてまいります。
　昨年から、山形県の社会人マーチングバンド「der glanz（デア　グランツ）」から大会時に演奏で応援をしていただき、今年度も大きな力をもらいました。
　私たちのチームは「地域密着」のチームとして地域の皆さまから応援していただきながら活動しているため、年間を通じて地域へのボランティア活動を更に精力的に行う必要があると感じています。来年度も試合だけではなく、地域への恩返しとしてボランティア活動にも力を注いでまいります。
　山形という地域の皆さまから支えていただき活動するB-net/yamagataは来年度も野球で山形を盛り上げ恩返しできるよう邁進してまいります。
　引き続き応援をどうぞよろしくお願いいたします。

社会医療法人公徳会

佐藤病院軟式野球部



日頃より公徳会佐藤病院野球部へのご支援、ご指導をいただき、心より感謝申し上げます。

天皇賜杯山形県予選では準決勝敗退と悔しさの残る結果となりましたが、その経験を糧に東北総合スポーツ大会では優勝し、国民スポーツ大会への出場を果たしました。国民スポーツ大会および水戸市長旗東日本大会においても全国の強豪と互角に戦い、これまで積み重ねてきた成果とチームの成長を示すことができました。

なお、本野球部は令和7年12月末日をもって休部することとなりました。創部以来45年間にわたり活動を継続できましたのは、地域の皆さま、関係者の皆さまの温かいご支援とご声援の賜物です。これまでの歴史の中で多くの選手が競技力のみならず人間的にも成長し、地域とのつながりを深めてまいりました。長年にわたり賜りましたご厚情に深く感謝申し上げますとともに、これまでの歩みを大切に受け継いでまいります。誠にありがとうございました。

斎藤農機製作所

剣道部



令和7年度、剣道部の活動報告ですが、
５月酒田市体育大会ではＡチームが優勝
することが出来ました、
6月国民スポーツ大会剣道県予選会の副将の部で個人優勝、8月東北大会、10月国民スポーツ大会に出場しました。
8月山形県剣道大会、9月全日本実業団大会があり参加しました。特に地道に基本や稽古を続けていたおかげで、個人では久々に国民スポーツ大会に出場した選手がいました。メンバー年齢が上がってきている中で基本稽古、基礎トレーニングの成果が出で予想以上の力を発揮することが出来きた年でした。
さらに自らの稽古だけではなく当剣道部は各地域の小中生の指導にも積極的に参加し地域の剣道普及活動も行っています。
今後も各種の大会での上位を目指すとともに普及活動も継続して行きたいと思います。

渋谷建設株式会社

山形クベーラ

<バスケットボール>



今年度もレベルアップ支援事業補助金を交付していただきありがとうございました。社会人チームとして山形クベーラ、また国スポ成年男子単独チームとしてたくさんの試合をこなし日々充実した活動を行うことできました。

昨年の雪辱を果たすために今年は結果を求めたシーズンでありました。SB-1トップリーグ戦３位、国スポ５位、全国チャンピオンシップ大会２位と過去最高の成績を収めることができ、たくさんの方々から温かいお声をかけていただいたシーズンになりました。改めてスポーツの素晴らしさや感動を味わう事ができたのも多数の方々のご支援、ご声援があってこそだと思います。全国優勝まであと一歩と登り詰めた現在の地位を深く理解し、来年度は今度こそチーム目標である全国優勝を目指したいと思います。

来年度も山形県のバスケットボール発展、そして子供たちの憧れになれるよう尽力を尽くし、より結果を求めていきたいと思います。

株式会社でん六

男子バドミントン部



6月に行われました、第75回全日本実業団選手権大会（松山市）は、出場数178チームと昨年の171チームを抜き毎年出場数を更新している国内のバドミントン競技状況です。

バドミントン人口が増加し活気があり、競争も激化し予選リーグからシーソーゲームが増えてきていると実感しています。

今大会昨年二年ぶりの予選リーグ敗退と悔しさが残った大会でした。今大会は競技レベルも格段に上がって接戦をものにしながら、何とか予選リーグ1位通過決勝トーナメント1回戦をも勝ちベスト64入りを果たし最低目標まではたどり着いたと感じています。

来年は5回目のベスト32入りを果たせるよう精進して参ります。

また2月に行われた、S/Jリーグ3（立川市）では、今年度S/Jリーグ活性化を図る為上位リーグと下位リーグのチームが最大八チーム入れ替わるような入替戦が行われました。

ここでも予選リーグを突破し入替戦1回戦をも勝ち、あと１回勝てば昇格する一戦でまたしてもこの舞台で北都銀行との因縁対決となりここまできて北都銀行とまた当たるのかとマイナスに捉えてしまい、苦手意識が強まって、4月に行われた東北実業団選手権大会では五分五分の試合展開で負けていましたが、今大会ではいいところ無く負けてしまい、今後はいつも頭一つ上にいる北都銀行に勝てるかを目標に取り組んでいかなくてはと感じました。

最後に山形県企業スポーツ振興協議会の皆様をはじめ多くの関係者から温かいご声援、ご支援を頂きまして深く感謝申し上げると共に今後とも引き続きご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

株式会社山形銀行

五十嵐紫乃選手

＜アルペンスキー＞



令和7年度は、国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会において第7位という成績を収めることができました。

これまで以上に業務との両立が求められるシーズンとなりましたが、上司や先輩、取引先、お客さまのご理解のもと、ご支援してくださったおかげで、これまでと変わらずスキーに取り組むことができました。さらに入賞という形で山形県に貢献出来たことは、一競技者としても、嬉しく安堵の気持ちです。

企業に所属しながら競技に取り組む社会人として、業務だけでなく、山形県におけるスキーの発展に貢献できるよう、今後も私なりの地域貢献の姿を模索し邁進します。

株式会社山形銀行

ライヤーズ

<バスケットボール>





令和7年度は、『 その瞬間のために～心・華・愛～ 』をスローガンに掲げ、全国大会優勝に向け日々の練習に取り組んできました。その結果、国民スポーツ大会では10年振りの優勝を果たすとともに、全日本社会人バスケットボールプレミアムチャンピオンシップでも優勝し、全国大会2冠を達成することができました。

今シーズンは、3名の新人選手を迎え、合計12名での活動となります。山形県企業スポーツの発展に貢献できるよう、より一層チーム力の強化を図り、国民スポーツ大会とチャンピオンシップの2冠を目指し、努力してまいります。

多くの方々に支えられ、日頃練習や活動ができていることに感謝し、今シーズンも結果や地域貢献で恩返しができるよう精進いたします。